

留学だより その3(2017年6月～7月分)

経済学部 3年 岸里現輝

淡江大学での留学生活もあつという間に約半年が経過し、こちらではすでに今学期が終了しました。振り返ってみるとこの半年だけでも様々な思い出がたくさんあります。

みんなと一緒にたわいもないおしゃべりをしたこと、いろいろな場所に遊びに行ったこと、勉強で苦労した事、いろいろな国から来ている学生との共同生活ならではの問題など、今振り返ると全てが良い思い出でなっています。また留学生や台湾の学生がみんなとても素晴らしい人達ばかりで、初めての台湾で何もわからない私に、やさしく接してくれたり、困った時には相談に乗ってくれました。彼らには本当に感謝の気持ちしかありません。

先日 Farewell Party が寮内で行われました。お別れ会のようなもので、台湾人の学生が企画してくれたゲームをしたり、今までの思い出の写真や動画をまとめて編集したものをスクリーンで鑑賞したりしました。泣いている学生も多かったです。それほど密度の濃い半年間でした。



先日、淡江大学の卒業式があり、何名かの仲の良い卒業生と写真を撮りました。海外の大学の映像でよく見る黒のマントのような卒業礼服と四角い帽子を生で見るとは初めてだったので、とても新鮮でした。卒業礼服の下には普段着を着ていたのも、日本のスーツと比べると着心地は楽だろうなと感じました。



私はこの事を初めて聞いた時はとても驚いたのですが、日本と台湾の就職活動の始まる期間は全く違います。日本の学生は在学中に就職活動をお始めますが、台湾の学生は卒業後から始まります。また男子学生は4か月間、兵士としての訓練を受けなければなりません。訓練を受けなければいけないことについてどう思っているのか台湾の学生に聞いたところ、訓練を今まで経験したことが無いからとても貴重な体験だと思う、新しい友人ができるのが楽しみ、などのポジティブな言葉ばかりでした。私は台湾の強制的に訓練を受けなければいけない法律にあまり良いイメージは持っていませんでしたが、これらの意見を聞いて、考え次第で物事の見方は大きく変わるなど改めて実感しました。

この半年間の留学を終えて得たものはここに書ききれないほどたくさんあります。勉強の能力はもちろん、人間的にも成長できたと思います。留学前は不安などもありましたが、こうして振り返ってみると本当にここに来ることができて良かったと思っています。この学期での反省点や学んだことを来学期に生かし、更に充実した生活にできるように頑張ります。

